

平成 26 年度

～皆さまの声を市政に生かしています～

市民意見の主な反映事例

①観光客へのおもてなしを充実させます！

【市民意見の要旨】

名古屋市の施設の中には、休憩スペースがない、説明や案内がわかりづらい等、観光客にとって便利とは言えないところがある。もっと観光客を迎える体制を整えるべきだ。

【市の対応】（市民経済局、教育委員会事務局）

名古屋市は、名古屋のまちを訪れた方に楽しく快適に観光していただけるよう、観光客の方の受け入れ体制をより充実させてまいります。

平成 26 年度は、名古屋城の本丸地内に、ヒノキ製の椅子を 30 脚以上設置し、観光客の方に足を休めていただけるようにしました。科学館においては、展示品の英語音声ガイドを 11 月から一部導入しました。

また、平成 27 年度は[なごや観光ルートバス（メーグル）](#)へ無料公衆無線 LAN 機器を設置し、観光客の方の利便性のさらなる向上を図ります。

なお、名古屋市の観光情報については、「[名古屋観光情報](#) [名古屋コンシェルジュ](#)」のページもぜひチェックしてください。

②歴史や文化を生かした名古屋の魅力づくりに取り組みます！

【市民意見の要旨】

名古屋市にもっと個性的なまちになってほしい。名古屋ゆかりの歴史的人物をまちづくりに活用するなどにより、芸どころ名古屋の文化や芸術を子どもたちに伝えてほしい。

【市の対応】（市民経済局）

名古屋市では、武将都市ナゴヤの観光 PR 隊「[名古屋おもてなし武将隊](#)」や芸どころ名古屋の礎を築いた徳川宗春公を活用したキャンペーン活動などを引き続き進める他に、新たに歴史資源を生かした魅力発信事業に取り組んでいます。

平成 26 年度は「[子どもまちかど文化プロジェクト 金山ぐるりタイムトンネル 2014](#)」（8 月）を開催し、金山総合駅周辺に江戸時代の雰囲気を作り出した中で、子ども達が伝統芸能などを楽しみ、市民がまちかどで気軽に触れる機会を提供しました。また、「[やっとかめ文化祭～芸どころ・旅どころ・なごや](#)」（10～11 月）では、全国初となる辻狂言を始めとし、まちなかでの各種ライブやまち歩きなど、まちを舞台とする都市魅力を再発見・発信できるように取り組みました。

また、平成 27 年度にはまちなかに良質な音楽が溢れるように、音楽イベントの様々な機会を創出して、まちの賑わいづくりや魅力向上を図っていきます。

③放射線の測定や情報提供を進めます！

【市民意見の要旨】

名古屋市における放射線の影響を把握できるよう、放射線測定の体制を充実させてください。また、食品に含まれる放射性物質について情報提供をしてください。

【市の対応】（健康福祉局、環境局、教育委員会事務局）

名古屋市では、平成 26 年度に中央卸売市場本場内の食品衛生検査所に放射性セシウムスクリーニング検査機器を導入し、本市を流通する食品の検査件数を増やしました。この検査結果については、「[なごや食の安全・安心情報ホームページ](#)」で公表するとともに、平成 26 年 6 月にはメール配信サービス「[なごや『よい食』メール](#)」を開始し、あらかじめ登録していただいた市民の方に情報を週に 1 回配信しています。

また、原発事故などの放射性物質の放出を伴う事故が発生した場合に備え、空間放射線量率を常時測定できる機器（モニタリングポスト）を環境科学調査センターに設置し、平成 27 年 4 月から常時監視（24 時間の連続測定）を行います。測定結果は「名古屋市放射線モニタリング情報」においてリアルタイムで提供します。

さらに、学校給食で使用する食材について産地や放射性物質の検査をし、その結果をウェブサイトで公表しているほか、食品中の放射性物質検査体制として、衛生研究所でガンマ線スペクトロメータを用いた食品中の放射性物質の精密検査を行ってきました。



④敬老パスを IC カード化してまいります！

【市民意見の要旨】

敬老パスは高齢者にとって、健康維持のため外出する機会が多くなり、大変ありがたいです。しかし、地下鉄利用の場合はパスをケースから取り出して自動改札機を通さなくてはならず、高齢者には面倒で、面倒だと出歩かなくなってしまう。出来れば改札機にかざすだけで改札を通れるようご一考いただきたいです。

【市の対応】（健康福祉局）

高齢者の社会参加を支援するために交付している敬老パスをより便利にご利用いただけるよう、IC カード化を実施してまいります。

平成 27 年度は、IC カードへの切り替えのために必要なシステムの開発や改修等を実施し、平成 28 年 9 月から順次ご利用いただけるようにしてまいります。

切り替え後は、マナカのように改札機にタッチするだけで通過できるようになり、利便性が向上します。

⑤のら猫を適切に世話する方への支援を充実させます！

【市民意見の要旨】

我が家では自費でのら猫の避妊をしています。個人でたくさんの猫を保護し、手術し、入院させるのは、費用の面で限界があります。これ以上不幸な猫を増やさないためにもなんとか対策をお願いします。

【市の対応】（健康福祉局）

名古屋市では、「人と猫が共生する快適なまち」を実現するため、平成 25 年度から、「なごやかキャットサポーター（※）」の活動を支援しています。

平成 27 年 4 月 1 日からは、のら猫の避妊去勢手術に対するなごやかキャットサポーターへの費用の助成を増額し、市民の費用負担を軽減いたします。

飼猫を屋外で自由に活動させることは、交通事故の危険があるほか、迷子や他の猫との繁殖によるのら猫増加の原因となります。飼猫は、完全室内飼育をするようお願いいたします。猫の飼育方法については、保健所、動物愛護センターで配布している小冊子「都会派猫のニュ



ーライフ」を参考にしてください。

※なごやかキャットサポーター

のら猫に避妊去勢手術を行った上で、適切に世話をすることを市に宣言したボランティア。

⑥子宮頸がんワクチン接種者に関する調査を実施します！

【市民意見の要旨】

子宮頸がん予防ワクチン接種の結果、その副反応に苦しんでいる十代の少女達が全国にたくさんいるという報道を見ました。原因がわからないで苦しむ少女達を救うために、名古屋市として対応を早急に検討してほしいです。

【市の対応】（健康福祉局）

名古屋市では、平成 22 年 10 月から子宮頸がん予防接種の費用助成を開始しました。しかし、その後、予防接種後に全身の疼痛等を訴える事例が全国で報告されるようになったことから、国の指示に基づき、平成 25 年 6 月から接種の積極的な勧奨を見合わせております。

現状を踏まえ、予防接種の実施主体として実態を把握するため、平成 27 年度には名古屋市独自で予防接種後の健康状況等についての追跡調査を実施します。

⑦災害用物資の備蓄を拡充します！

【市民意見の要旨】

防災訓練が行われたが、備蓄品が少ないと感じた。また、近くの避難所は備蓄倉庫が 1 階にあり、倉庫が水に浸かってしまう。保管する場所を確保して、備蓄品を増やすべきだ。

【市の対応】（防災危機管理局、健康福祉局、環境局）

南海トラフ巨大地震の被害想定などを踏まえ、平成 27 年度から 30 年度までに避難所等の備蓄物資などについて、順次拡充していきます。

まず、平成 27 年度は中川区・港区・南区の全小中学校を中心とした避難所において食糧、毛布や災害用トイレの備蓄を拡充するとともに、被害想定において津波により浸水するとされた地域の避難所については、飲料水の備蓄を行います。

加えて、帰宅困難者対策として、帰宅困難者を受け入れる退避施設に、簡易型トイレや携帯電話の充電器等を整備します。

また、備蓄物資について、津波浸水被害が想定される地域においては、浸水被害が想定されていない階層に分散して保管できるように、市立小中学校において整備していきます。

⑧子どもたちのがんに関する学習機会を広げていきます！

【市民意見の要旨】

未成年のうちのがんについてしっかり学習し、理解することが必要だ。小学校でがんに関する教育を推進してほしい。

【市の対応】（健康福祉局、教育委員会事務局）

名古屋市では、平成 24 年 3 月のがん対策推進条例を制定しました。条例では、子どもたちへのがん教育の重要性を強く認識し、学習の機会を広げるよう努力することが定められています。

平成 26 年度からは、小学校 6 年生及び中学校 3 年生を対象として、がんができる仕組みや原因、予防などについてわかりやすく説明した学習補助教材『がんについて考えようーがんの正しい知識と理解のためにー』を配布し、学習の中で活用しています。

今後も、子どものうちから、がんに関する正しい知識を習得し、がん予防の意識を高めて生涯にわたる健康づくりにつなげられるように取り組んでまいります。



⑨働きながら子育てしやすい環境づくりを進めていきます！

【市民意見の要旨】

保育所等への利用の申し込みについて、募集人数も少なく難しいと言われました。子どもを見てくれる祖父母もおらず、働くことができません。女性が働きやすい環境づくりをするため、乳幼児が利用できる保育所等を増やしてください。

【市の対応】（子ども青少年局）

名古屋市では、平成 26 年 4 月において国の定義に基づく待機児童ゼロを達成しました。しかし、同時点において保育所等を利用できていない児童（特定の保育所の利用のみを希望

している方等)が756人いるうえ、今後も利用希望者の増加が見込まれます。そこで平成26年度に保育所等の新設や増築等により、2,000人分を超える利用枠を拡大しました。

あわせて、延長保育や幼稚園での一時預かり等、保護者の就労形態の多様化に対応する保育事業の実施か所数を拡大し、働きながら子育てしやすい環境づくりを進めます。



⑩噴水の清掃回数を増やしました！

【市民意見の要旨】

名古屋駅西口の噴水は、いつも煙草やごみでいっぱいになっている。名古屋の顔でもあり、これでは恥ずかしい。誰でも清掃ができるような形状であればいいが、噴水なのでごみを拾うことができない。何とかならないのでしょうか？

【市の対応】(緑政土木局)

名古屋駅太閤口の「ゆりの噴水」は、市民の皆さまや、観光で名古屋にいらっしゃった団体の皆さまの集合場所として親しまれています。

誰でも清掃できる形状にするため、噴水を撤去して代わりに植栽帯を整備すること等も検討いたしましたが、皆さまから親しまれている施設であることから、噴水施設を残すこととし、清掃回数を平成26年度からは月2回から月6回に増やしました。

これからも市民の皆さまや観光客の方に愛着を持っていただけるよう、ごみ等を捨てないようご協力をお願いいたします。

⑪小中学校の教室にクーラーを設置します！

【市民意見の要旨】

小学校の教室には扇風機しかなく、熱中症で休んでいる児童もいる。早くクーラーを設置してほしい。

【市の対応】(教育局委員会事務局)

地球温暖化の進行等を踏まえ、より良好な学習環境の充実を図るために、平成25年度から27年度までの3か年で市立の全小・中学校普通教室への空調設備の導入を進めています。

平成 27 年度にはすべての小・中学校の整備が完了する予定です。

⑫ 海拔表示の実施場所を増やします！

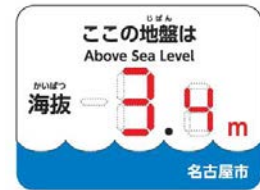
【市民意見の要旨】

海拔表示について、名古屋市の施設や設備等を利用して早急に対応されるよう求めます。日常生活において、いざという時のための行動指針として生かされるようにすべきです。人々全員が適切に避難できるようにするために、海拔表示は大きな役割を担うことになると考えます。

【市の対応】（防災危機管理局）

名古屋市では、迅速な避難に役立つよう、南海トラフ巨大地震が発生した場合に津波浸水が想定される 7 区（中村区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、南区及び緑区）の海拔 10m 以下の地域において、平成 24 年度には市有施設やコンビニエンスストアなどにおいて表示を行い、平成 25 年度には市の管理する緊急輸送道路沿いの街路灯に海拔表示を行いました（合計約 3,500 か所）。

これを拡充し、平成 27 年度には、同地域の生活道路沿いの街路灯においても海拔表示を実施いたします。



⑬ LINE@で皆さまのご意見をお聴きします！

【市民意見の要旨】

若い人たちの意見をもっと市政に取り入れてほしい。これからの日本や名古屋を作っていく若者に目を向けてほしいです。

【市の対応】（市民経済局）

幅広い市民の方（特に 20 歳代、30 歳代の若い世代の方）に市政へ関心を持っていただき、意見を発信しやすい環境づくりを目的として、若い世代に身近なソーシャルメディア「LINE」の名古屋市公式 LINE@ の運営を平成 26 年 7 月に開始しました。



QR コード読み取りで友だち登録できます！

「友だち」になっていただいた方に市政の「知っ得」情報をお届けするとともに、簡単なアンケートでご意見をお聴きしてまいります。

この他にも、道路等の修繕や接遇の改善等に関する要望を多くいただき、順次対応しております。今後も市民の皆さまのご意見を幅広く積極的に聴き、行政運営に生かしてまいりますので、引き続き建設的なご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

■名古屋市公式ウェブサイト「市政相談「市民の声」」のページ

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/59-12-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

■交通局ウェブサイト「いっそうご満足いただけるよう～お客様の声におこたえしました～」のページ

<http://www.kotsu.city.nagoya.jp/about/opinion/index.html>

■上下水道局公式ウェブサイト内「お客さまの声におこたえしました」のページ

<http://www.water.city.nagoya.jp/category/koe/index.html>